

令和6年度 チュラビスタ高校生徒・教職員の小田原高校訪問について

令和6年9月27日（金）に、本校 SSHにおいて連携をしているアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ郡チュラビスタ市にあるチュラビスタ高校の皆さん7名（生徒4名、先生1名、保護者2名）が訪日し、小田原高校に到着されました。チュラビスタ市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州の最南端に位置する太平洋沿岸の都市で、ロサンゼルス市からは南に約200 km、メキシコとの国境までは11 kmの距離に位置しています。小田原高校のある小田原市とは、姉妹都市となっています。チュラビスタ高校は、チュラビスタ市で最初に建設された高校で、生徒たちはダンス、オーケストラ、演劇、ピアノ、マーチングバンド、ギター、グラフィックアートなど、様々なことを学ぶ機会が与えられているそうです。そして、SDGsに非常に熱心に取り組まれています。本校では、SSH事業の一環で、1年次は、SDGsを通じた課題研究のメールの交流を、2年次は、理系分野における課題研究の成果を、オンラインでお互いに発表しあう取り組みを、どちらも希望者を対象に進めています。今まで、メールを通しての交流は行ってきましたが、実際に会っての交流は初の試みとなりました。

当日のスケジュールは以下の通りです。

- 8:50～9:55 挨拶（自己紹介）・打ち合わせ・校舎見学等
英語（英語コミュニケーションⅡ）授業見学
- 10:05～11:10 前半（10:05～10:35）：英語（論理表現Ⅰ）授業見学
後半（10:40～11:10）：物理（物理基礎）授業見学
- 11:20～12:25 情報（情報Ⅰ）授業見学
- 12:25～13:10 生徒間交流（英語部生徒等）
前半（12:30～12:50）：英語部による発表。
後半（12:50～13:10）：自由交流。写真撮影。
- 13:15 学校出発



実際に本校の授業に参加してもらい、日本の授業を体験してもらいました。本校生徒も英語を使いながら一所懸命会話をしている様子が伺えました。充実した時間を過ごすことができました。本校の生徒も、交流をすることができて、とても嬉しそうでした。本校とチュラビスタ高校の絆を深めることのできた1日となりました。

